

令和 6（2024）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

スマ 日本海・東シナ海

対象水域	日本海・東シナ海	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 浮魚資源部、佐賀県玄海水産振興センター、熊本県水産研究センター、沖縄県水産海洋技術センター
------	----------	-------	---

- ・ 令和 4 年度資源評価調査報告書を公表済み（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/03/report_2022_241.pdf）、次回令和 7 年度を予定

(1) 調査の概要

- ・ 機構は生物情報収集調査を実施
- ・ 各県は漁獲統計調査を実施
- ・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

(2) データ収集状況

- ・ 佐賀県では1995年～2021年の漁獲量を収集済み
2022年以降の漁獲量を収集中
- ・ 熊本県では2012年～2023年の漁獲量を収集済み
2024年以降の漁獲量を収集中
- ・ 沖縄県では1989年～2023年の漁獲量を収集済み
2024年以降の漁獲量を収集中
- ・ 機構および一部の県にて精密測定を実施

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：温帯から熱帯にかけての海域に分布し、日本では太平洋沿岸、日本海西部から九州南岸および琉球列島沿岸に分布するとされるが、詳細な分布や回遊に関する生態は不明
- (2) 年齢・成長：インド洋では、3歳で 50～65 cm に達する（Collette and Nauen 1983）。日本近海では、1歳で 39 cm、2歳で 45 cm、3歳で 51 cm に成長（Ohshimo et al. 2024）
- (3) 成熟・産卵：雌の生殖腺指数（GSI）は、長崎近海域で 7～9 月、沖縄近海域で 4～6 月に高い値をとる（Ohshimo et al. 2024）
- (4) 被捕食関係：魚類、頭足類、甲殻類を捕食し、カジキやサメに被食される（Collette and Nauen 1983）

(4) 備考

特になし

(5) 引用文献

Collette, B.B. and C.E. Nauen (1983) FAO Species Catalogue.1983. Vol. 2. Scombrids of the world. An annotated and illustrated catalogue of Tunas, Mackerels, Bonitos and related species known to date. FAO Fish. Synop., (125)Vol.2: 33 p.

Ohshimo, S., K. Matsuzaki, Y. Fujinami, T. Kodam (2024) Biology of kawakawa *Euthynnus affinis* in the East China Sea: Growth, reproduction, and stable isotope ratios. Regional Studies in Marine Science, 69: 103346